

【北海道新聞・羽幌タイムス・日刊留萌に掲載されました】

6月19日(火)、グローバル人材育成事業の一環として、札幌韓国教育院の康興^{カンフンゴン}権院長を講師にお招きし、『隣国への短期留学を通じグローバル社会を生きる力を考える』を演題に、韓国の地理・歴史・文化、そして留学することについて講演していただきました。

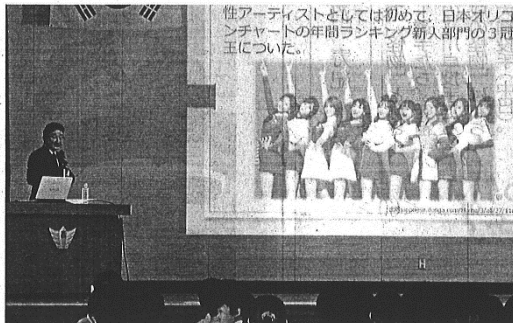
留学には「語学を勉強しようとする強い動機付けに大きな役割があり、海外の文化に飛び込むことで視野が広がり、内面をより豊かに成長させてくれる」といったメリットがあること、グローバル人材となるためには「①コミュニケーション能力、②異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ、③主体性と積極性、チャレンジャー精神」が必要であると熱く語っていました。

<北海道新聞>

留学で異文化理解深めて

札幌韓国教育院長 羽幌高で講演

【羽幌】国際的に活躍する人材を育てようと、羽幌高(宮下裕加校長)は19日、札幌韓国教育院の康興^{カンフンゴン}権院長を講師にお招きし、『隣国への短期留学を通じグローバル社会を生きる力を考える』を演題に、韓国の地理・歴史・文化、そして留学することについて講演していただきました。



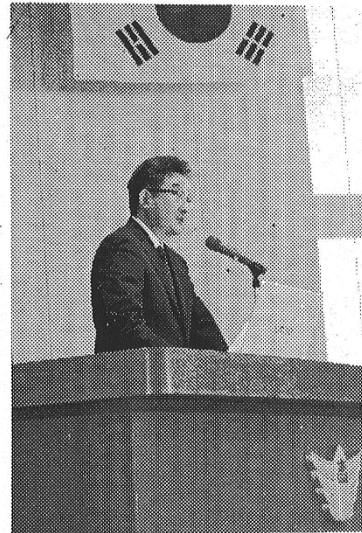
性アーティストとしては初めて、日本オリコンチャートの年間ランキング新人部門の3冠王に輝いた。

韓国の文化や教育制度について解説する康興権さん
院長(右)を招き、講演会を開いた。康さんは「海外留学はコミュニケーション能力を高めるだけでなく、異文化理解と友好親善に寄与し、内面も豊かになる」と強調した。
道教委のグローバル人材育成事業の一環、1、2年生全員と3年生の希望者、羽幌国際交流協会員ら合わせて120人が聴講した。
康さんは韓国料理やKポップアイドルなど身近な話題を交えながら流ちょうな日本語で語りかけた。留学について「価値観の違いにショックを受ける。思考が柔軟な高校生のうちに経験する意義は大きい」と指摘。「世界は広く、やるべき」とは多い。皆さんの可能性は無限大です。ぜひ留学に挑戦してほしい。グローバル時代の主人公は皆さんです」と激励した。

講演会の後、康院長は留学する男女8人の生徒と別室で会い、韓国語習用の教材を贈呈。「留学では必ずしも成功は保証されず、失敗を恐れず積極的に発言してください」とアドバイスした。(長谷川賢)

<羽幌タイムス>

札幌韓国教育院の康興権院長が羽幌高で講演 みなさんの可能性は無限、挑戦を グローバル社会に生きる力を考える



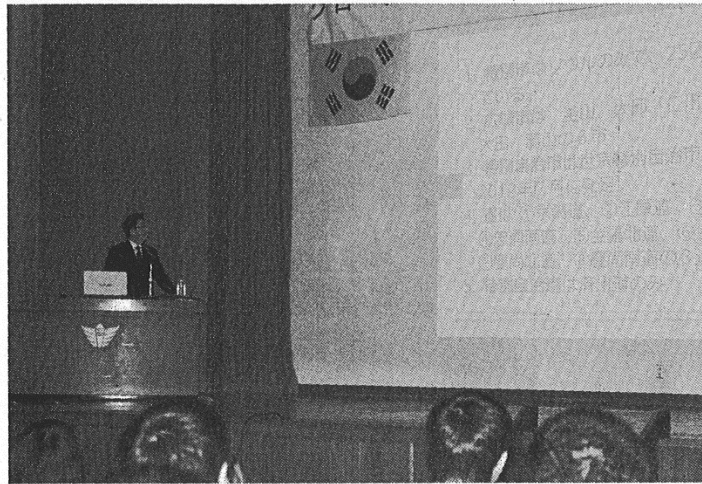
【羽幌】日韓の友好親善に取組む、駐札幌大韓民国総領事館札幌韓国教育院の康興権(カンフンゴン)院長が19日、羽幌高校で「隣国への短期留学を通じてグローバル社会に生きる力を考える」を題に講演。「みなさんは世界で活躍する力に満ちあふれている。可能性は無限、挑戦してグローバル社会の主人公に」とエールを送った。
同校は道教委「グローバル人材育成事業」の一環、1、2年生全員と3年生の希望者、羽幌国際交流協会員ら合わせて120人が聴講した。

の指定を受けていて、講演は素明女子高との相互交流をはじめとした海外留学への気運の高めるねらい。
康さんによると、韓国では一九九七年に小学校から英語教育を導入するなどグローバル世界にこぎだし、現代では英語が出来なければ就職さえままならないという。全米チャート一位となったK-POPのBTS、日本から三人が加わったガールズグループTWICEもグローバル化の流れだと紹介した。
グローバル人材の要素、コミュニケーション能力の育成のためのポイント、高校生が短期留学するメリットに「語学を勉強しようとする強い動機付け」に大きな役割があるほか、外国の文化に飛び込むことで視野が広がる、忍耐、自己認識など内面を豊かなものへと成長させると強調。
ビックデータ、人工頭脳、ロボットなど、グローバルな課題へのアプローチの手段として注目を集める第四次産業革命、この時代を生きたために備えなければならないものとして五つの未来力量を示し、論理的な思考、技術の融合、他人に共感を得る創造性などについて語った。

注目を集める第四次産業革命、この時代を生きたために備えなければならないものとして五つの未来力量を示し、論理的な思考、技術の融合、他人に共感を得る創造性などについて語った。

講演会の後、康院長は留学する男女8人の生徒と別室で会い、韓国語習用の教材を贈呈。「留学では必ずしも成功は保証されず、失敗を恐れず積極的に発言してください」とアドバイスした。(長谷川賢)

講演会の後、康院長は留学する男女8人の生徒と別室で会い、韓国語習用の教材を贈呈。「留学では必ずしも成功は保証されず、失敗を恐れず積極的に発言してください」とアドバイスした。(長谷川賢)



康院長を講師に羽幌高校で行われたグローバル
人材育成事業講演

短期留学の利点など強調

韓国教育院の
康院長が講演

羽幌

【羽幌】北海道教育委員 会主催のグローバル人材育

成事業講演が、19日午後1時10分から羽幌高校（宮下裕加校長）で行われ、駐札幌大韓民国総領事館札幌韓国教育院の康興權（カン・フンクォン）院長が高校生が短期留学するメリットや国際交流の意義などについて講演し、同校の1、2年生らが耳を傾けた。

道教委は、国際化社会に対応した人材育成のため、高校生を対象に短期留学の素晴らしさなどを伝える講演事業に取り組んでおり、今年度は20校を指定校として実施。羽幌高校での講演は、同事業のトップを切っ

て行われたもので、同校は韓国の素明女子高校と交流があり、短期留学生の相互派遣などに取り組んでいることから康院長が講師に選ばれた。

「隣国への短期留学を通材の要素に①語学力やコミ

ュニケーション能力②異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ③主体性や積極性、チャレンジ精神などを挙げたほか、高校生が短期留学するメリットとして「語学を勉強しようという強い動機付けに大きな役割を果たす。海外の文化に飛び込むことによって視野が広がり、将来の財産になる。内面をより豊かなものに成長させてくれる。異文化理解に極めて大きな意義があり、隣国との友好親善の増進に寄与することができる。大学レベルでの留学やその後の国際交流活動の拡大につながる」と述べたほか、ビッグデータや人工知能、ロボットの活用といった第4次産業革命時代を生きるために必要な能力などについても話した。

（児玉一明）